

事業所名

湘南国際アフタースクール藤沢

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

10日

| | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|-----|----|-----|---------|----|--|----|
| 法人（事業所）理念 | | 「公文式」を導入した学習で将来の就労に必要な力を身に付けて子どもたちの自立を支援する | | | | | | | |
| 支援方針 | | 学習を通して子供たちを褒め、やる気を引き出すことを心がけています。 今の子供たちは“褒められる”ということに慣れていません。最初は褒められることに慣れていない子供たちも、「ここでは褒められる」と次第に良い表情を見せてくれるようになります。そうした学習を通して集中力・忍耐力・挑戦する力を身につけ、子供たちの自信につなげていきます。 | | | | | | | |
| 営業時間 | | 11時 | 30分 | から | 17時 | 30分 | まで | 送迎実施の有無 | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 簡単な読み書き計算をすることによる基本的な生活スキルの習得を図ります。 決まった時刻に学習、場面、気持ちの切り替えができるようにします。 | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 正しい姿勢で学習することによって、姿勢保持の強化につなげます。 目と手指の協応と指先の巧緻性を鍛えます | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 簡単な計算や補助教材を使うことにより、数の並びの習得、数量の習得を図ります。 ミスを受け入れる力、修正力を養います。 | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 公文教材を書類ととらえ、学習後に教材を揃えるそして先生に提出する際、「採点お願いします」ということを意識させることによりコミュニケーションの基礎的能力向上を図ります。 先生からの指示の理解、自分から質問する力を養います。 | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 自立した学習をを目指し、自分の苦手な問題も前向きに取り組むことにより自己の理解と行動の調整を図ります。 学習手順やルールを理解、仲間と一緒に学習することで社会性と人間関係を養います。 | | | | | | | |
| 家族支援 | | 家庭での困りごとに対する助言やサポート | | | | 移行支援 | | 学校、関係機関との連携 | |
| 地域支援・地域連携 | | 事前の承諾を得た後、学校や医療機関と連携し、情報共有の他、個別支援計画の作成・合理的配慮の活用等の環境調整を行います。 | | | | 職員の質の向上 | | 一人一人の児童に対する担当者会議の実施 月に1回の全体ケース会議 年に1回程度公文本社による研修 | |
| 主な行事等 | | 年に2回程度、社会見学の一環として施設見学に行きます。 | | | | | | | |